

こなほんしってる？

2021 No.1065

8月号



だざいふしみんとしょかん・すくすく号 電話921-4646 Fax921-4896
太宰府市民図書館ホームページアドレス <http://www.library.dazaifu.fukuoka.jp/>

《ティーンズから》

※【 】内の記号は分類番号です。読みたい本が見つからないときは、カウンターの人にきいてね。リクエスト（予約）もできます。

☆今月のおすすめ！☆

♠ 平安男子の元気な！生活

川村 裕子／著 岩波書店（岩波ジュニア新書）【Y910】
千年前の男子ってどんなイメージですか？
ゆったりとしていて、優雅な感じ・・・。
いいえ、実はかなりアクティブだったというエピソードが
たくさんあります。平安男子の生活を、追体験できる本です。（け）

♠ 深堀り！中学数学

坂間 千秋／著 岩波書店（岩波ジュニア新書）【Y410】
「三角形の内角の和は180℃になる」「マイナス×マイナスはプラスになる」中学校で学習する「きまり」ですが、なぜそうなるのでしょうか？ みなさんがあたり前だと思っている「きまり」にも、そうなるまでのプロセスがあるのです。そんな教科書には書かれていない数学のおはなしです。（紀）

♠ みつばちと少年

村上 しいこ／著 講談社【YNムラ】
中学1年生の雅也は、夏休みに北海道のおじさんが営む養蜂場に手伝いに行くことにした。その間に住むことになった「北の太陽」には様々な事情を抱え、親元を離れて暮らす5人の子どもたちがいた。クラスになじめない悩みを抱えていた雅也が夏休みにたくさんの経験を通して成長していく物語。（秋）

♠ おじいちゃんのお笛

ウルフ・スタルク／作 アンナ・ヘグルンド／絵 菱木 晃子／訳
ほるぷ出版【94スタ】
ぼくのおじいちゃんの話聞いた友だちのベツが、おじいちゃんが欲しいというので、2人で老人ホームに行くことにした。そこで、ニルスさんと仲良くなったベツは・・・。（寛）

♠ 俳句部、はじめました

神野 紗希／著 岩波書店【Y911】
五七五の「定型」のリズムに乗せ、季節の言葉「季語」の力を借りて詠む、世界で一番短い詩が俳句です。「HAIKU」は海外でも通じる日本語です。高1の夏、俳句甲子園と出会い、人生が変わった著者が教科書の俳句とは違うシンクロ感を教えてくれます。（博）

♠ ニッポン第1号ものがたり

楠木 誠一郎／著 講談社【031】
かき氷、カレー、ラーメン、にぎりずし・・・。
今ではどれも身近な食べ物ばかりですが、はじめて食べた人のことを考えたことはあるでしょうか？ 食べ物だけでなく、ロボットや日本地図まで、歴史をさかのぼって「ニッポン第1号」のものがたりをのぞいてみましょう。（優）

♠ 地震はなぜ起きる？

鎌田 浩毅／著 岩波書店【Y453】
地震多発国といわれる日本。
そもそも、地震はなぜ起きるのか、その科学的な仕組みと突発的に起こる災害に対してどのような備えが必要かを科学者が具体的に解説します。（い）

☆他にもあるよ！☆

♠ 迷子の星たちのメリーゴーラウンド

日向 理恵子／著 六七質／絵 小学館【Nヒナ】

♠ 橋の上の子どもたち

パドマ・ヴェンカトラン／作 田中 奈津子／訳 講談社
【93ヴェ】

♠ すっぱいのひみつ

赤野 裕文／著 会田 博美／絵 金の星社【588】

♠ 壊れた脳と生きる

鈴木 大介／著 鈴木 匡子／著 筑摩書房（ちくまプリマー新書）
【Y493】